・・この協議会のなかで事業者の意見交換が出来るということですね・・

「地域の中にこういう組織があり、組織に行政がかかわっていることを事業者の方に知っていただくことが、制度全体をよくしていくし、サービスの質をあげるためにも必要なことだと考えます。

事業者間の意見交換は、別の場を設定する必要があると思いますが、この協議会によってシステム的な問題点を見つけていくなど、全体のレベルアップにつなげられると思います」。

・・低所得者の方への保険料減免について・・

「このことは幾つかの市町村で行われておりますが、今国や県からはストップがかかっております。やはりこのことは保険の根幹にかかわることですし、そうかといって負担の重過ぎる方に何もしないというのもこれもいけない。

制度の中でそれぞれに考えて行かなくてはならないと思っています。

保険料未納の方が、将来利用される場合に、それを自治体の判断・裁量でどうしていくのか。状況がそれぞれ違うこともあり、十分考えていきたい。」

・・高齢者福祉計画の基盤整備について、特に特別養護老人ホームの不足について・・

「施設整備が後追いになっていることは確かです。介護保険になって施設の利用へのためらいが少なくなったことが利用拡大につながっているのかもしれません。市内だけで充足するのは無理なところがありますので、周辺地域を含めた広域で利用していただくことを考えていただければと思います。お互いに利用し合うことで理解をいただきたい。」

・・痴呆症の方の入所について、大きな建物だけではなくグループホームなどはどうお考えでしょうか・・

「痴呆症の方を受け入れる施設も限られているので難しいところがあります。

グループホームを利用される方も限られた方であると思われます。それぞれの施設が症状によってうまく整理が出来、適切な場所が決められて機能出来ていくといいと思います。」

地域に見守りネットワークを

・・サービスが必要だが、情報が分からず困っている方のキャッチの手立ては・・

「地域に見守りネットワーク（地域の町内会、民生委員、老人会や郵便、新聞配達員の方々で組織）を作る必要があります。さまざまな方法で情報提供はしていますし、新聞・テレビ等でも報道されていますが、全員に知らせるのは難しいところがあるようです。」

・・まごころ・・

（私たち住民に情報を取得していく意識の問題があるのかもしれません。知る努力を市民もしていく必要があるようですね）

◆介護保険枠外の福祉サービスについて

・・予防施策は・・

「今年度と同じような介護予防講座や教室の開催をしていきます。」

公助・自助・共助

・・自立支援のケア内容ですが、家庭内の自立支援のみではなくて、例えば絵を見に名古屋まで行きたい。不安だから付き添いを、というような生活の質を大切にし、自分の生き方が選択出来る自立支援内容に広げる用意は・・

「そういう考えは今はありません。むしろ、そういうところは民間の助け合いによるのではないでしょうか。すべて行政が出来るわけはありませんから、どこまで公が行うか議論する必要があると思います。いわゆる、公助・自助・共助のレベルの問題ではないかと思います。」

・・まごころ・・

（まさしくNPO法人やNPOの活動だと考え、在宅支援やミニデイサービス活動を行っていますが、非営利組織体の財政基盤軟弱さは時としてその活動を困難にします。

NPO法が誕生した背景をご理解いただき、NPO法人の活動に行政支援を頂きたい旨要望しました。

今、市民は行政と共に地域活動を行うことに積極的に参加したいと思っています。市民が活動しやすい支援を行政にお願いしました）

・・市民に一宮市の施設開放について（一宮市立中央看護学校や福祉バス利用等）・・

「そういうご要望をはじめてお聞きしましたので、少し時間を頂いてご希望に沿えるよう努力致します。」

・・まごころ・・

（是非早急な検討をしていただきたいと思います）

◆今後の展望

新しい形の宅老所を

・・来年度の福祉分野の方向性について・・

「介護保険については3年毎のサイクルで、あまり大きな変更は加えられません。高齢者保健福祉運営協議会の継続・・・。ひとつには新しい形の宅老所が考えられます。

立派な建物を作るのではなく既存の建物を使って、気軽な寄り合い場所、誰でも集える、楽しめる場所作りをする。これからは、お年寄りの社会参加の機会作りが必要だと考えています。これはひいては生涯教育学習につながることです。楽しみながら時間を過ごしていく場を作り、閉じこもりがちなお年寄りをなくすことで、健やかな老後につながると考えています。」

・・市では来年度、限度額を越える方への独自の上乗せサービスをお考えですか・・

「介護保険限度額を越える方へのケアサービスの上乗せは来年度も考えていません。

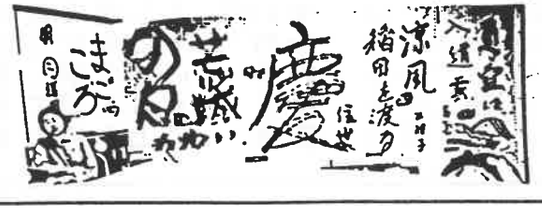
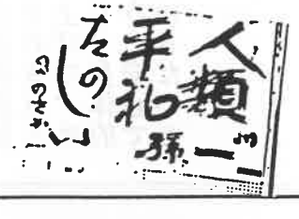
まず実態を把握することが先で、それも800人の訪問調査の結果を参考にしていきたいと思います。」

・・今、市内に65歳未満身体障害者の方へのデイサービスがありませんが今後の予定は。身体障害者の方々への手立ては何かありますか・・

「デイサービスに限らず非常に遅れています。民間の方々が非常に頑張っておられますので、民間と力を合わせて対処していきたいと思います」

◇　◇　◇

市の福祉施策や方向を伺うことが出来、有意義なお話しをいただきました。



ホウキや軍手を使って
自由に！　おおらかに！　見事に！
まごころミニデイサービス
スポ文福祉祭りに展示しました